

【12週連続パクリタキセル療法について】

点滴スケジュール: 毎週 × 12回

お薬の名前と治療のスケジュール (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
薬の名前	作用	点滴時間																					
グラニセトロンバッグ デキサート注 ガスター注	吐き気止めとアレルギー予防のお薬です	15分																					
レスタミンコーウ錠	アレルギー症状を抑えるお薬です	パクリタキセル注 開始30分前に内服		5錠						5錠							5錠						
生理食塩液		30分																					
パクリタキセル注	抗がん剤です	1時間																					
生理食塩液																							

治療による副作用

:注意が必要な時期

	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
自覚症状	過敏症	■																			
		痒みや赤み、顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																			
	食欲不振・吐き気	■	■	■				■	■	■				■	■	■	■	■	■	■	
		吐き気が起こることがあります。我慢せず、吐き気止めの薬を使いましょう。																			
	筋肉痛・関節痛			■	■	■	■							■	■	■				■	■
		肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。																			
	口内炎										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。刺激物は避けて、歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																			
検査値	手足のしびれ		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	便秘	■	■	■						■	■	■	■				■	■	■		
		水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節可能ですので、ご相談ください。																			
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)															■	■	■	■	■	■
		治療開始2週間後から抜け始めます。頭皮の清潔を保つようにしましょう。																			
	白血球減少							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。37.5度以上の発熱時はお知らせ下さい。																			
	赤血球減少(貧血)															■	■	■	■	■	■
		めまい・ふらつき・立ち眩みなどの症状がでたりするので注意しましょう。																			
	血小板減少						■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		鼻血や歯ぐきから血が出やすくなることがあります。普段よりも長めに止血するようにしましょう。																			



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせ下さい。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものですが、必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどがありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。